軍の記憶

久留米の戦争遺跡を訪ねて

1．軍都への道

◆ 久留米市誕生まで

明治２年（1869）、久留米藩領の山川村（現・山川町）に、嘉永期（1848 ～ 1855）以降の国事殉難者を祀る招魂所が創建されました。陸軍埋葬地も併設され、佐賀の乱（明治７年）・西南戦争（同 10 年）の戦死者及び警察抜刀隊の墓が造られました。また同所には、第１次世界大戦中（1914 ～ 1918）、久留米俘虜収容所で没したドイツ人捕虜の墓も造られることとなります。

◆ 久留米市誕生、軍事施設の誘致

明治 22 年（1889） 4 月、日本最初の市制施行で、全国 31 都市のうち最も人口が少ない市として、久留米市が誕生しました。近い将来の発展を見込まれての認可でしたが、市域は狭く、産業に乏しく税収も低かったため、極めて厳しい経済状況でした。

ところが日清戦争後の軍拡政策で、鉄道を擁し交通の便が良い久留米市付近に、陸軍の兵営が新設されるとの情報が伝わります。これを好機とし、久留米市は経済振興のため、軍事施設の猛烈な誘致運動を展開しました。

その甲斐あって、明治 30 年（1897）、市近郊の御井郡国分村（現・国分町自衛隊駐屯地）に、陸軍第 12 師団歩兵第 48 連隊が移駐し、続いて歩兵第 24 旅団司令部が開庁、久留米衛戍病院も設置されました。ここから久留米市は、軍都への道を歩むこととなります。

雪の日の久留米衛戍病院

2．加速する軍都化

◆ 久留米師団創設

陸軍施設の設置に伴いインフラ整備が進む中、日露戦争後の軍備拡張で、明治 40 年（1907）には新設の第 18 師団が久留米市に設置されます。師団司令部が現在の久留米税務署（諏訪野町）の地に開庁し、国分村役場（現・高牟礼会館）は師団長官舎として利用されることになりました。

◆ 陸軍特別大演習

明治 44 年（1911）、久留米市及びその近郊で陸軍特別大演習が実施されました。大演習は天皇が直接指揮するもので、第 18 師団の戦力を確認する目的で、久留米が実施地として選ばれたと考えられます。大本営は福岡県立中学明善校（現・県立明善高等学校）に置かれ、明治天皇の行在所（現・明善高校同窓会館）も設けられました。

大本営となった中学明善校

◆久留米俘虜収容所

日露戦争に際し、明治 38 年（1905）にロシア兵を収容する久留米俘虜収容所が設置され、2,697 名が久留米に移送されました。

第１次世界大戦に伴い、大正３年（1914）にドイツ兵捕虜を収容する久留米俘虜収容所が設置されます。収容された 1,319 名の捕虜は、ハーグ陸戦協定に基づいて人道的に取り扱われ、久留米市民との交流があったことも知られています。捕虜が久留米高等女学校を訪れ、なぎなたの練習を観覧、その礼としてベートーヴェンの「第九」を演奏しました。また、ドイツ兵捕虜の技術指導により地下足袋や自動車タイヤが開発され、それが今日に至るゴム産業の発展へと繋がっていきました。

久留米高等女学校での演奏会

3．戦争の時代へ

◆師団存置運動

第１次世界大戦後の世界的軍縮の流れと、大正 12 年（1923）に発生した関東大震災の復興予算捻出のため、陸軍大臣・宇垣一成により第 18 師団を含む４個師団が廃止されます。

陸軍が撤退すれば、久留米市及び周辺地域の経済にとって大打撃となるため、官民挙げての師団存置運動が巻き起こり、結果、第 18 師団に代わって、小倉から第 12 師団が移駐することになりました。さらに同師団には、日本初の戦車部隊である戦車第１大隊も新設されました。

◆日中戦争

昭和６年（1931）に満州事変が勃発、翌年、第 12 師団歩兵第 24 旅団を基幹とする混成第 24 旅団が、上海に派遣されました。この中には、久留米工兵隊（明治 42 年創設の工兵第 18 大隊）も含まれていました。

９月 22 日早朝、上海北方の廟巷鎮での戦闘で、久留米工兵隊の兵士３名が点火した破壊筒を抱えて爆死します。彼らは命と引き換えに戦局を切り開いた英雄として「爆弾三勇士（肉弾三勇士）」と謳われ、加熱する戦局報道の中で、久留米工兵隊は全国に知られるようになりました。

4．軍都の終焉

◆陸軍墓地設立

戦争の激化で急増する戦死者に対応するため、昭和 13 年（1938）、陸軍埋葬地を「陸軍墓地」に改称、個人墓は廃止、合祀されることになります。

翌年７月、陸軍墓地建設が着手されます。その用地として、株式会社ブリヂストンの創始者・石橋正二郎は、自身のゴルフ場を提供しました。同 16 年には、墓地内に忠霊塔を設置することが定められます。

２年９ヵ月の歳月をかけ、同 17 年４月、建設費 25 万円（2015 年物価指数を基準に換算すると、約４億５千万円）、のべ 11 万２千人の勤労奉仕によって、忠霊塔を中核とする陸軍墓地が完成しました。

◆第２次世界大戦～終戦

昭和 16 年（1941）12 月８日、日本軍がハワイ州真珠湾を奇襲、日米は開戦しました。翌年６月、日本軍はミッドウェー海戦で大敗、戦況は急速に悪化していきました。

同 20 年６月の沖縄陥落以降、米軍による本土空襲は激しさを増し、８月 11 日、久留米市街地は 53 機のＢ－24 による空襲を受け、その約７割が焼失しました。この前日、日本政府は連合国へポツダム宣言の受諾を通告、15 日に戦争は終結し、日本軍は解体され、軍都久留米はその歴史に幕を閉じました。

昭和 20 年８月 11 日の久留米空襲（米軍撮影）